

施策評価調書(4年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(4)	
政策体系	施策名	未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進	所管部局名	商工観光労働部		
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部		
				長期総合計画頁	91	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	県経済の基盤強化に向けた新たな企業誘致の推進	産業集積効果を企業誘致に生かすための地場企業強化

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i	①	H26	20	45	41	91.1%	45							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね 達成	自動車関連産業やシステム開発などの情報通信産業の投資が進んだことにより、目標値を概ね達成する結果となった。	概ね 達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①②	<p>・本県の強みである産業集積の厚みや市町村との連携による迅速なワンストップサービスを活かした誘致に積極的に取り組んだことにより、41件の企業立地があり、673人の新規雇用と208億円の設備投資に結びついた。</p>

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	流通拠点整備推進事業	112.8	226
	企業立地促進事業	91.1	226
	サテライトオフィス整備・誘致推進事業	100.0	227

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第3回ものづくり未来会議おおいた(R4.11)</p> <p>・新たな企業が進出することで、他の企業との相乗効果も期待できる。半導体関連では、何にフォーカスして誘致するか、誘致する企業が必要なものをあらかじめ、行政で準備する必要がある。</p>	<p>○第4回ものづくり未来会議おおいた(R5.3)</p> <p>・環境配慮という観点で、公共下水処理水の再利用が検討・研究されているが、企業誘致・産業振興をしっかりと進めていくためには、水の確保が必要不可欠。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・これまでの企業誘致による産業集積を活かして、自動車・半導体関連等の産業活性化の波及効果が大きい業種の企業誘致を引き続き進める。</p> <p>・産業構造の転換やカーボンニュートラルへの対応なども見据え、蓄電池など新たな産業にも目を向けていく。</p> <p>・市町村と連携して整備を進めてきたサテライトオフィス等へIT関連企業の誘致を一層進めていく。</p> <p>・県営工業団地の分譲促進と並行して、工業団地の整備を進める市町村及び市町村と連携する民間企業を支援するとともに、工業用水確保のための検討を進める。</p>